

こども未来学科  
令和6年度1学年用 前期シラバス

筑波研究学園専門学校

令和6年度 1学年 前期シラバス

目 次

こども未来学科 幼児保育コース・幼児スポーツコース・幼児音楽コース

【教科目名】	【授業科目名】	ページ数
教養科目	英語コミュニケーション	1
	情報リテラシー	2
	接遇マナー	3
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	4
	教育原理	5
	こども家庭福祉	6
	保育者論	7
保育の対象の理解に関する科目	発達心理学	8
	こどもの理解と援助	9
	教育心理学	10
保育の内容・方法に関する科目	指導法「人間関係」	11
	指導法「言葉」	12
	乳幼児保育 I	13
	保育実技 I	14
	音楽表現 I	15

授業科目名：英語コミュニケーション		授業形態：演習	単位：2単位 授業時間数：30H
教養科目		・外国語	
唐澤 優江	[実務経験]国際ナショナルキッズアカデミー課外バレエクラス担当 [研究テーマ]異文化コミュニケーション分野		
授業の到達目標及びテーマ 近頃では幼稚園や保育園に外国人のこどもが入園してくることもあり、保育現場で英語を使う機会も増えている。本授業では、英語表現の基礎となる文法・構文の復習を行うとともに、保育の現場で必要な英語表現を運用できる力を身に付けることを目的とする。			
授業の概要 小学校における外国語活動の導入も念頭に入れ、英語の基本的知識の復習に始まり英語絵本の読み聞かせが出来るような英語力の育成を目指す。			
授業計画 1. 英語の文法 ①動詞、形容詞・副詞 2.       "       ②比較、代名詞、疑問詞 3.       "       ③進行形、完了形、受動態 4. 英語の基礎構文 ①5文型 5.       "       ②修飾語句 6.       "       ③接続詞、仮定法 7. 入園準備 8. 登園・降園 9. 室内遊び 10. 外遊び 11. 健康・病気・けが 12. 運動・お散歩 13. 食事 14. 工作・お絵かき 15. おたより・行事 16. 試験			
テキスト 「英語コミュニケーション」能勢規子／著（豊岡短期大学）			
参考書・参考資料等 「新 保育の英語」森田和子／著（三修社）			
学生に対する評価 出席状況、受講態度、提出課題および試験等により総合的に評価する。			

授業科目名：情報リテラシー		授業形態：演習	単位：2単位 授業時間数：30H
教養科目		・外国語、体育以外の科目	
野口 孝之	[研究テーマ]情報教育分野 豊岡短期大学通信教育部非常勤講師		
福田 翔平	[研究テーマ]デジタルコンテンツと人間教育分野		
皆川 龍吾	[研究テーマ]デジタルコンテンツと人間教育分野		
授業の到達目標及びテーマ 情報システムの発展と役割について理解を深め、これからの情報化社会を生きる上で必要となる基礎知識と技術を習得する。そして、情報化に主体的に対応するための基礎的な知識について理解を深め、コンピュータの操作・利用、及び情報の活用と情報モラルに関わる技術的なスキルを身につけることを目標とする。			
授業の概要 コンピュータはビジネス現場ばかりでなく日常生活にまで浸透している。この授業では、これからの生活で最低限度習得しておかなければならない情報活用能力を身に付ける。特にコンピュータの日本語入力についての基本操作、応用操作を扱う。			
授業計画 1. コンピュータの基礎知識 起動・終了各部名称と操作方法等 アプリケーションソフトの機能と役割 2. DX 概論～DXとは～ 3. DX 概論～保育におけるDX化～ 4. 情報化社会の到来、コンピュータの発展 5. 日本語入力方法の基礎 ビジネス文書の作成 6. 保育行政のDX化～子育て支援に対するDX化～ 7. 保育行政のDX化～保育事務業務軽減に対するDX化～ 8. 日本語文書作成における基礎 9. 日本語文書作成における応用 10. コンピュータのしくみとハードウェア ソフトウェア ～アプリケーションソフト～ 11. インターネットのしくみ インターネットの活用 12. 情報社会とコンピュータ 13. ネットワークと情報モラル 14. WordとExcelの活用 15. 問題演習・課題作成 16. 試験			
テキスト 「情報リテラシーと処理技術」三木紘武／著（豊岡短期大学）			
参考書・参考資料等 「30時間でマスターWord & Excel 2019」実教出版企画開発部／著（実教出版） 「情報活用試験3級公式テキスト」一般財団法人職業教育・キャリア教育財団／著（実教出版）			
学生に対する評価 出席状況、受講態度、提出課題および試験等により総合的に評価する。			

授業科目名：接客マナー		授業形態：演習	単位：1単位 授業時間数：30H
教養科目		・接客マナー	
松田 静佳	[実務経験]保育士・幼稚園教諭・一般企業における新人研修		
森山 睦美	[実務経験]保育士・幼稚園教諭・新人研修		
授業の到達目標及びテーマ 社会人として求められる基本的な知識や心構え、コミュニケーションなどサービス接客に関する実践力を身に付け、実社会で役立つ様々なマナーを学ぶ。そして、6月10日（土）に実施されるサービス接客検定（3級）試験への合格を目標とする。			
授業の概要 社会人として求められるマナーの基本を学習する。様々なマナーを臨機応変に、心を込めて実践できることを目指す。			
授業計画 1. 授業オリエンテーション ～マナーの歴史と本質(学生と社会人の違い)～ 2. 専門知識 ①サービスの意義 3.        "    ②サービスの機能 4.        "    ③サービスの種類 5. 一般知識：社会常識/時事問題 6. 対人技能 ①人間関係/接客知識 7.        "    ②話し方/服装 8. 実務技能：問題処理/環境整備/金品管理/社交業務 9. 検定試験振り返り 10. 言葉づかいの基礎（話し方／人に与える印象／尊敬語・謙譲語の使い分け） 11. 実践演習 ①立つ姿勢・お辞儀の仕方・椅子の立ち座り・名刺交換等 12.        "    ②電話応対（電話の掛け方・受け方・伝言メモ）、来客応対等 13. 身だしなみのマナー 14. 手紙の書き方 15. 宛名書き 16. 試験			
テキスト 「実社会で求められるビジネスマナー」井上洋子／著（専門教育出版）			
参考書・参考資料等 過去問題、プリントなどを講義時に配布する。			
学生に対する評価 出席状況、受講態度、提出課題および試験等により総合的に評価する。			

授業科目名：保育原理	授業形態：講義	単位：2単位 授業時間数：30H
保育の本質・目的に関する科目	・保育原理	
湯浅 阿貴子	[実務経験]幼稚園教諭 [研究テーマ]保育内容・保育内容「人間関係」・発達障害児・発達心理分野	
授業の到達目標及びテーマ		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の意義及び目的について理解する。</li> <li>・保育に関する法令及び制度を理解する。</li> <li>・保育所保育指針における保育の基本について理解する。</li> <li>・保育の思想と歴史的変遷について理解する。</li> <li>・保育の現状と課題について理解する。</li> </ul>		
授業の概要		
<p>保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育の基本について理解し、保育の質を高めるための方法を学ぶ。さらに、保育の思想と歴史的変遷について学んだ上で、保育の制度を理解し、保育の現状と課題について考察する。</p>		
授業計画		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育の意義と目的</li> <li>2. 保育の思想と歴史的変遷             <ol style="list-style-type: none"> <li>①欧米の保育思想の展開と保育施設の展開</li> </ol> </li> <li>3.       "       ②わが国における保育の歴史的変遷</li> <li>4. 乳幼児の発達と保育</li> <li>5. 保育の内容   ①保育所保育指針における保育の基本</li> <li>6.       "       ②幼稚園教育要領における保育の基本</li> <li>7.       "       ③幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育の基本</li> <li>8. 保育の方法 ①環境を通して行われる保育</li> <li>9.       "       ②健康保育・安全保育</li> <li>10. 保育の計画 ①保育所の保育課程と指導計画</li> <li>11.       "       ②幼稚園の教育課程と指導計画</li> <li>12. 現代社会と子育て支援</li> <li>13. 保育制度と保育サービス</li> <li>14. 保育所、幼稚園、小学校の連携</li> <li>15. 人権保育</li> <li>16. 試験</li> </ol>		
テキスト		
<p>「保育原理」栗岡あけみ・和田真由美／著（豊岡短期大学）  「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（フレーベル館）</p>		
参考書・参考資料等		
プリントなどを講義時に配布。		
学生に対する評価		
提出課題および試験等により総合的に評価する。		

授業科目名：教育原理		授業形態：講義	単位：2単位 授業時間数：30H
保育の本質・目的に関する科目	・教育原理		
教育の基礎的理解に関する科目	イ 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
木村 祐介	[実務経験]小学校教諭 [研究テーマ]教育学分野 姫路大学通信教育部非常勤講師		
授業の到達目標及びテーマ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の意義、目的及びこども家庭福祉等との関わりについて理解する。</li> <li>・教育の思想と歴史的変遷について学び、教育に関する基礎的な理論について理解する。</li> <li>・教育の制度について理解する。</li> <li>・教育実践の様々な取り組みについて理解する。</li> <li>・生涯学習社会における教育の現状と課題について理解する。</li> </ul>			
授業の概要			
<p>教育の基本概念、理念、歴史及び思想について学ぶことにより、どのように教育及び学校が営まれ変遷してきたかを理解する。また、こども家庭福祉とのかかわりについても理解する。さらに現代の学校教育に関する社会的及び制度的な仕組みを学ぶことにより、学校と地域の連携及び学校安全に関する意義や必要性を理解する。</p>			
授業計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育の意義、目的及びこどもの家庭福祉等との関連性 <ol style="list-style-type: none"> <li>①教育の意義と目的</li> </ol> </li> <li>2.                    "                    ②乳幼児の教育の特性、教育とこども家庭福祉</li> <li>3. 教育の思想と歴史的変遷   ①ソクラテス、コメニウス</li> <li>4.                    "                    ②ペスタロッチ、ルソー</li> <li>5.                    "                    ③ヘルバルト、他</li> <li>6. フレーベルと幼児教育</li> <li>7. デューイの児童中心主義</li> <li>8. 日本の教育の思想と歴史</li> <li>9. 教育の制度：教育制度の基礎（学校教育と教師像）</li> <li>10. 諸外国の教育制度</li> <li>11. 教育の実践：教育の実践の基礎（内容・方法）</li> <li>12. 教育の実践の基礎（計画と評価）</li> <li>13. 教育実践の多様な取り組み</li> <li>14. 生涯学習社会における教育の現状と課題   ①生涯学習社会と教育</li> <li>15.                    "                    ②現代の教育課題</li> <li>16. 試験</li> </ol>			
テキスト			
「教育原理」菅原健太・伊藤美和子・渡邊舞・明田川知美／著（豊岡短期大学） 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（フレーベル館）			
参考書・参考資料等			
特になし			
学生に対する評価			
出席状況、受講態度、提出課題および試験等により総合的に評価する。			

授業科目名： <b>こども家庭福祉</b>	授業形態：講義	単位：2単位 授業時間数：30H
保育の本質・目的に関する科目	・子ども家庭福祉	
太田 裕子	[実務経験]特別支援学校教諭・日本語教師 [研究テーマ]社会的養護・社会福祉・障害児保育・教育・学校教育分野	
授業の到達目標及びテーマ		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会におけるこども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。</li> <li>・こどもの人権擁護について理解する。</li> <li>・こども家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。</li> <li>・こども家庭福祉の現状と課題について理解する。</li> <li>・こども家庭福祉の動向と展望について理解する。</li> </ul>		
授業の概要		
本講義ではこども家庭福祉の意義や歴史の変遷、保育との関連性、法制度、実施体系などについて体系的に学び、今日のこども家庭福祉の現状と課題について理解を深める。		
授業計画		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会におけるこども家庭福祉の意義と歴史の変遷：こども家庭福祉の理念と概念</li> <li>2. こども家庭福祉の歴史の変遷</li> <li>3. 現代社会とこども家庭福祉</li> <li>4. こどもの人権擁護：こどもの人権擁護の歴史の変遷と現代社会における課題</li> <li>5. 児童の権利に関する条約</li> <li>6. こども家庭福祉の制度と法体系</li> <li>7. こども家庭福祉の実施体系</li> <li>8. 児童福祉施設とこども家庭福祉の専門職</li> <li>9. こども家庭福祉の現状と課題：少子化と地域子育て支援</li> <li>10. 母子保健とこどもの健全育成</li> <li>11. 多様な保育ニーズへの対応</li> <li>12. 虐待、DVとその防止、障害のあるこどもへの対応</li> <li>13. 少年非行等への対応</li> <li>14. 貧困家庭、外国籍のこどもとその家庭への対応</li> <li>15. こども家庭福祉の展望</li> <li>16. 試験</li> </ol>		
テキスト		
「こども家庭福祉」武田英樹・岡村健太・奥典之・北村博・蜂谷俊隆／著（豊岡短期大学） 「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（フレーベル館）		
参考書・参考資料等		
「保育者養成シリーズ」		
学生に対する評価		
提出課題および試験等により総合的に評価する。		

授業科目名：保育者論		授業形態：講義	単位：2単位 授業時間数：30H
保育の本質・目的に関する科目	・保育者論		
教育の基礎的理解に関する科目	ロ 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校への対応を含む。）		
松田 静佳	[実務経験]幼稚園教諭・保育士		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の役割と倫理について、教育の動向も踏まえ理解する。</li> <li>・保育者の制度的な位置づけを理解する。</li> <li>・保育者の職務内容、専門性について考察し、理解する。</li> <li>・保育者の連携・協働について理解する。</li> <li>・保育者の資質向上とキャリア形成について理解する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">※保育者：教員より広い概念 幼稚園教諭含む。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>乳幼児の育ちを専門的に支援する役割をもつ保育者について、総合的に理解する。保育者をめぐる制度的な位置づけ、保育者の専門性と資質、保育者の協働体制等について実践的に理解するとともに、保育者の専門的なキャリア形成について理解を深める。</p>			
<p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育者の役割と倫理 ①役割・職務内容</li> <li>2. 保育者の役割と倫理 ②倫理</li> <li>3. 保育者の制度的位置づけ：保育者の定義・資格・要件（児童福祉法、学校教育法）</li> <li>4. 欠格事由、信用失墜行為及び秘密保持義務等</li> <li>5. 保育者の専門性 ①法律・制度</li> <li>6.        "                  ②資質・能力</li> <li>7. 養護と教育の一体性 ①養護・教育とは</li> <li>8.        "                  ②保育における養護的側面・教育的側面</li> <li>9. 家庭との連携 ①連携の意義</li> <li>10.       "                  ②支援の在り方</li> <li>11. 保育者の連携・協働：職員間の連携・協働</li> <li>12. 専門職観及び専門機関、関係機関等との連携・協働</li> <li>13. 保育者の資質向上とキャリア形成       <ol style="list-style-type: none"> <li>①資質向上に関する組織的取り組み</li> </ol> </li> <li>14.       "                  ②保育者の専門性の向上とキャリア形成の意義</li> <li>15.       "                  ③組織とリーダーシップ</li> <li>16. 試験</li> </ol>			
<p>テキスト</p> <p>「教職論」原田敬文・丹後政俊・吉益敏文／著（豊岡短期大学）  「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（フレーベル館）</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>「教師論・保育者論」生田貞子・水田聖一／編著（三晃書房）  「教育の方法と技術」柴田義松／著（学文社）  「教職論」佐藤徹／編著（東海大学出版会）  「教職概論」第4次改訂版 佐藤晴雄／著（学陽書房）</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>出席状況、受講態度、提出課題および試験等により総合的に評価する。</p>			

授業科目名：発達心理学		授業形態：講義	単位：2単位 授業時間数：30H
保育の対象の理解に関する科目	・保育の心理学		
教育の基礎的理解に関する科目	二 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程		
佐々木 将人	[実務経験]臨床心理士 [研究テーマ]心理学分野		
授業の到達目標及びテーマ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。</li> <li>・こどもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となるこどもへの理解を深める。</li> <li>・乳幼児期のこどもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、人間関係や体験、環境の意義を理解する。</li> <li>・発達を踏まえた学習を支える指導について基本的な考え方を理解する。</li> </ul>			
授業の概要			
乳幼児期のこどもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、こどもの発達に関わる心理学の基礎を学び、保育における養護及び教育の一体性や環境の意義の理解を深める。			
授業計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発達を捉える視点：こどもの発達を理解することの意義</li> <li>2. こどもの発達と環境 ①発達の定義、生涯発達という見方、発達の原理</li> <li>3.         "                   ②発達段階と発達課題、遺伝と環境、人間の発達に関する理論</li> <li>4. 発達理論とこども観・保育観 <ul style="list-style-type: none"> <li>①発達のイメージから考える発達観 こどもとのかかわりに現れる発達観とこども観</li> </ul> </li> <li>5.         "                   ②保育者の願いと発達観・保育観 こどもをこどもの側から見る・見えないものを見るために</li> <li>6. こどもの発達過程：社会情動的発達 <ul style="list-style-type: none"> <li>①自己と感情、他者理解</li> </ul> </li> <li>7.         "                   ②他者とのかかわり</li> <li>8. 身体的機能と運動機能の発達</li> <li>9. 認知の発達               ①認識の基礎</li> <li>10.        "                   ②数と形</li> <li>11. 言語の発達               ①新生児期、乳児期</li> <li>12.        "                   ②幼児期、児童期</li> <li>13. こどもの学びと保育   ①乳幼児期の学びに関わる理論</li> <li>14.        "                   ②乳幼児期の学びの過程と特性</li> <li>15.        "                   ③乳幼児期の学びを支える保育</li> <li>16. 試験</li> </ol>			
テキスト			
「発達心理学」上長然／著（豊岡短期大学） 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（フレーベル館）			
参考書・参考資料等			
「史上最強図解よくわかる発達心理学」林洋一／監修（ナツメ社）			
学生に対する評価			
提出課題および試験等により総合的に評価する。			

授業科目名：こどもの理解と援助		授業形態：演習	単位：1単位 授業時間数：15H
保育の対象の理解に関する科目		・こどもの理解と援助	
栗山 智子	[実務経験]社会福祉士・生活相談員 [研究テーマ]発達心理学・社会福祉・児童福祉		
授業の到達目標及びテーマ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実践において、実態に応じたこども一人ひとりの心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。</li> <li>・こどもの体験や学びの過程においてこどもを理解するうえでの基本的な考え方を理解する。</li> <li>・こどもを理解するための具体的な方法を理解する。</li> <li>・こどもの理解に基づく保育者の援助や態度の基本について理解する。</li> </ul>			
授業の概要			
保育実践においてこども一人ひとりの心身の発達や学びを把握することの意義を理解し、こどもの理解するうえでの基本的な考え方、具体的方法について学び、それに基づく保育者の援助や態度の基本について理解する。			
授業計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育におけるこども理解の意義</li> <li>2. こどもに対するかかわりと共感的理解</li> <li>3. こどもの生活や遊び</li> <li>4. 保育の人的環境としての保育者とこどもの発達</li> <li>5. こども相互のかかわりと関係づくり</li> <li>6. 集団における経験と育ち</li> <li>7. 発達における葛藤やつまずき</li> <li>8. 保育の環境の理解と構成</li> <li>9. 環境の変化や移行</li> <li>10. こども理解のための観察・記録と省察・評価</li> <li>11. こども理解のための職員間の対話</li> <li>12. こども理解のための保護者との情報共有</li> <li>13. 発達の課題に応じた援助とかかわり</li> <li>14. 特別な配慮を要するこどもの理解と援助</li> <li>15. 発達の連続性と就学への支援</li> <li>16. 試験</li> </ol>			
テキスト			
「発達心理学」上長然／著（豊岡短期大学）			
「教育心理学」稲田達也・鈴木由美・大塚貴之・大西清文／著（豊岡短期大学）			
「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（フレーベル館）			
参考書・参考資料等			
随時紹介する。			
学生に対する評価			
出席状況、受講態度、提出課題および試験等により総合的に評価する。			



授業科目名：指導法「人間関係」		授業形態：演習 (集中)	単位：1単位 授業時間数：15H
保育の内容・方法に関する科目		・保育内容演習	
領域および保育内容の指導法に関する科目		イ 領域に関する専門的事項 ロ 保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	
湯浅 阿貴子	[実務経験]幼稚園教諭 [研究テーマ]保育内容・保育内容「人間関係」・発達障害児・発達心理分野 豊岡短期大学通信教育部非常勤講師 姫路大学通信教育部非常勤講師		
授業の到達目標及びテーマ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の内容が相互に関連性をもつことを理解した上で、領域「人間関係」の位置付けを確認しながら、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。</li> <li>・保育所保育指針における「乳児保育の3つの視点」と、「1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域」を通してこどもの発達を捉え、こどもに対する理解を深めながら、人とのかかわりに関する領域「人間関係」について具体的に理解する。</li> <li>・こどもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えるとともに、言葉の獲得や児童文化財に親しむための保育環境の整備など、保育に当たって保育者が留意、配慮すべき事項を理解する。</li> <li>・こどもの発達を理解し、発達過程に即して具体的な保育場面を想定しながら、保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）の実際について理解する。</li> </ul>			
授業の概要			
幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「人間関係」のねらいや内容の理解を深めるとともに、様々なかかわりを通じた人間関係の発達についてエピソードを取り上げ解説する。また、保育者としてどのようにこどもと人との関わりを育てていくのか、考察していく。			
授業計画			
1. 領域「人間関係」	10.	〃	⑥集団におけるこども同士の芽生え、調和を支える保育者の工夫
〃 ①ねらいと内容及びその取扱い			
2. 〃 ②保育者としての役割	11.	〃	⑦こどもの自己発揮・自己抑制を支える保育者の工夫
3. 保育者としての環境作りと評価			
〃 ①こどもの人間関係を見つめる目と環境設定（情報機器含む）	12.	〃	⑧こどもの大切な育ちを捉える保育者の視点
4. 〃 ②保育構想と指導案（模擬保育）	13.	〃	⑨こども同士を結び付ける保育者の遊びの役割
5. こどもの人間関係の育ちと保育者との役割と援助 ①対人意識、自己概念の発達	14.	〃	⑩こども同士を結び付ける遊びの保育計画（情報機器を活用した保育計画を含む指導案、模擬保育）
6. 〃 ②自己理解と他者理解を支える保育者の工夫			
7. 〃 ③個と集団の育ちの姿			
8. 〃 ④こどもの心の拠り所である保育者の工夫	15.		地域の人々との多様なかかわりを導く保育計画及び小学校との交流を導く保育計画（情報機器を活用した保育計画を含む指導案、模擬保育）
9. 〃 ⑤人とのかかわりとこどもの心の揺れ動きを支える保育者の工夫	16.		試験
テキスト			
「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（フレーベル館）			
参考書・参考資料等			
随時配布する。			
学生に対する評価			
出席状況、受講態度、提出課題および試験等により総合的に評価する。			

授業科目名：指導法「言葉」		授業形態：演習 (集中)	単位：1単位 授業時間数：15H
保育の内容・方法に関する科目		・保育内容演習	
領域および保育内容の指導法に関する科目		イ 領域に関する専門的事項 ロ 保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	
富倉 志保	[実務経験]豪州私立中高等学校・インターナショナルスクール日本語教師 [研究テーマ]保育内容「言葉」・児童文化財・外国語教育分野 豊岡短期大学通信教育部非常勤講師		
授業の到達目標及びテーマ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の内容が相互に関連性をもつことを理解した上で、領域「言葉」の位置付けを確認しながら保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。</li> <li>・保育所保育指針における「乳児保育の3つの視点」と、「1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域」を通して子どもの発達を捉え、子どもに対する理解を深めながら、言葉の獲得に関する領域「言葉」について具体的に理解する。</li> <li>・子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えるとともに、言葉の獲得や児童文化財に親しむための保育環境の整備など、保育に当たって保育者が留意、配慮すべき事項を理解する。</li> <li>・子どもの発達を理解し、発達過程に即して具体的な保育場面を想定しながら、保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）の実際について理解する。</li> </ul>			
授業の概要			
幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定子ども園教育・保育要領の領域「言葉」のねらいや内容の理解を深めるとともに、乳幼児期の言葉の発達の仕組み、保育者の言葉のあり方、姿勢について学ぶ。			
授業計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼児教育と言葉 ①言葉とは何か・生活と言葉、言葉環境としての保育者の言葉のあり方</li> <li>2. " ②領域「言葉」の位置付けと他領域との関わり</li> <li>3. 乳幼児期の言葉の発達過程と保育者としての評価 <ol style="list-style-type: none"> <li>①領域「言葉」指導上の留意点と評価</li> </ol> </li> <li>4. " ②0歳～5歳における言葉の発達、6歳の就学に向けた取り組み</li> <li>5. 言葉を豊かに育む活動 <ol style="list-style-type: none"> <li>①言葉遊びに関する情報機器及び教材の活用法</li> </ol> </li> <li>6. " ②わらべうた、なぞなぞ、しりとり、ごっこ遊び、劇遊び等、言葉遊びによる指導案作成及び模擬保育</li> <li>7. " ③言葉から文字へ、文字による環境</li> <li>8. " ④文字体験としてのカルタ・双六・絵カード等の制作（情報機器活用及び教材の活用）及び模擬保育体験</li> <li>9. 保育者と言葉のあり方 ①言葉の遅れや障がいをもつ乳幼児の捉え方と支援</li> <li>10. " ②外国の子どもとの対応</li> <li>11. 言葉を豊かに育む活動 <ol style="list-style-type: none"> <li>⑤言語教材としての絵本の意義</li> </ol> </li> <li>12. " ⑥絵本と、デジタル教材と保育現場の実際及び言語教材を用いた指導案の作成</li> <li>13. " ⑦絵本、お話等の指導法と情報機器の利用について</li> <li>14. " ⑧絵本、お話等の実践による指導案作成及び模擬保育</li> <li>15. 言葉の年間授業計画と幼稚園、保育園、子ども園と小学校との連携</li> <li>16. 試験</li> </ol>			
テキスト			
「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説」（フレーベル館）			
参考書・参考資料等			
随時配布する。			
学生に対する評価			
出席状況、授業態度、提出物、試験により総合的に評価する。			

授業科目名：乳幼児保育Ⅰ		授業形態：講義	単位：2単位 授業時間数：30H
保育の内容・方法に関する科目		・乳児保育Ⅰ	
大塚 由利子	[実務経験]幼稚園教諭・保育士 [研究テーマ]乳幼児保育分野		
授業の到達目標及びテーマ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。</li> <li>・保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。</li> <li>・3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。</li> <li>・乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">※乳児保育とは3歳未満児を念頭においた保育を示す。</p>			
授業の概要			
乳幼児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割を理解し、多様な保育の場における乳幼児保育の現状と課題について理解する。そして職員間の連携・協働、保護者と地域社会との連携についても理解する。			
授業計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乳児保育の意義・目的と役割：乳児保育の意義・目的と歴史の変遷、乳児保育の役割と機能</li> <li>2. 乳児保育における養護及び教育</li> <li>3. 乳児保育の現状と課題 ①乳児保育及び子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題</li> <li>4.                    "                    ②保育所における乳児保育</li> <li>5.                    "                    ③保育所以外の子童福祉施設（乳児院等）における乳児保育</li> <li>6.                    "                    ④家庭的保育等における乳児保育</li> <li>7.                    "                    ⑤3歳未満児とその家庭を取り巻く環境と子育て支援の場</li> <li>8. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育 <ul style="list-style-type: none"> <li>①3歳未満児の生活と環境</li> </ul> </li> <li>9.                    "                    ②3歳未満児の遊びと環境</li> <li>10.                   "                   ③3歳以上児の保育に移行する時期の保育</li> <li>11.                   "                   ④3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育士等による援助や関わり</li> <li>12.                   "                   ⑤3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮</li> <li>13.                   "                   ⑥乳児保育における計画・記録・評価とその意義</li> <li>14. 乳児保育における連携・協働 <ul style="list-style-type: none"> <li>①職員間の連携・協働</li> </ul> </li> <li>15.                   "                   ②保護者との連携・協働 <ul style="list-style-type: none"> <li>③自治体や地域の関係機関等との連携・協働</li> </ul> </li> <li>16. 試験</li> </ol>			
テキスト			
「乳幼児保育Ⅰ」國光みどり・倉本洋子・鈴木富美子・山中ます子／著（豊岡短期大学） 「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（フレーベル館）			
参考書・参考資料等			
随時配布する。			
学生に対する評価			
提出課題および試験等により総合的に評価する。			

授業科目名：保育実技Ⅰ		授業形態：演習	単位：2単位 授業時間数：60H
保育の内容・方法に関する科目		・保育実技Ⅰ	
松田 静佳	[実務経験]幼稚園教諭・保育士		
皆川 龍吾	[実務経験]幼稚園教諭		
大塚 由利子	[実務経験]幼稚園教諭・保育士		
	[研究テーマ]乳幼児保育分野		
森山 睦美	[実務経験]保育士・幼稚園教諭		
	[研究テーマ]乳幼児保育分野		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>手遊びや絵本または紙芝居等の導入のあり方や提供の仕方について学ぶ。また、乳幼児の発達段階を踏まえた“遊び”を学び、実際の保育展開について理解する。また、その時々への援助・配慮について考察し、保育者としての知識と技術・技能を身に付けることを目標とする。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>教育実習・保育実習・施設実習に向け、保育実技の向上を目指す。こどもの遊びにはどのような意味があるのかを考えながら絵本をはじめ、昔話やわらべうた、手遊び等、伝承されてきた豊かな遊びの文化を学び、遊びの本質を理解し、こどもの成長や発達段階に合わせた“こども本来の遊び”を創造できる力を培う保育を行うための授業を展開する。</p>			
<p>授業計画</p> <p>1. 授業オリエンテーション・教材紹介</p> <p>2. 制作・歌遊び ①季節の折り紙 ②遊び歌・リズム体操</p> <p>3. 制作・歌遊び ①ペープサート制作 ②ペープサート遊び方</p> <p>4. 制作・歌遊び ①指導案作成 ②ペープサート実演</p> <p>5. 季節に触れる ①季節の行事調べ ②季節の行事制作 さつまいも栽培</p> <p>6. 自然に触れる ①食育、畑作り ②さつまいもの苗植え</p> <p>7. 日本の伝承遊び ①昔話 ②わらべうた</p> <p>8. 日本の伝承遊び ①切り紙制作 ②カード作り</p> <p>9. 乳児期の遊び ①0～1歳児向けの遊び ②0～1歳児向けの制作遊び</p> <p>10. 幼児期の遊び ①2～3歳児向けの遊び ②2～3歳児向けの制作遊び</p> <p>11. 幼児期の遊び ①4～5歳児向けの遊び ②4～5歳児向けの制作遊び</p> <p>12. 絵本・手遊び ①絵本の選び方 ②読み聞かせ</p> <p>13. 絵本・手遊び ①名札計画 ②名札制作</p> <p>14. 絵本・手遊び ①指導案 ②名札制作</p> <p>15. 絵本・手遊び ①指導案 ②名札制作</p> <p>16. 試験</p>			
<p>テキスト</p> <p>「保育実習・教育実習の設定保育」片山紀子／編（朱鷺書房）</p> <p>「あそびうた大全集200」細田淳子／著（永岡書店）</p> <p>「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（フレーベル館）</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>プリントなどを講義時に配布する。</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>出席状況、受講態度、提出課題および試験等により総合的に評価する。</p>			

授業科目名：音楽表現Ⅰ		授業形態：演習	単位：3単位 授業時間数：90H
保育の内容・方法に関する科目		・音楽表現Ⅰ	
大森 淳子	[実務経験]ピアノ講師・演奏家 [研究テーマ]音楽教育分野 豊岡短期大学通信教育部非常勤講師 姫路大学通信教育課程非常勤講師		
倉田 照子	[実務経験]小学校教諭・中学校教諭（音楽）・声楽家・児童合唱団主宰 [研究テーマ]教育・保育内容「言葉」・児童文化財分野 姫路大学通信教育課程非常勤講師		
重藤 清美	[実務経験]ピアノ講師		
押手 美加	[実務経験]音楽教室講師・小学校教諭・演奏家 [研究テーマ]音楽教育分野		
柴野 玲子	[実務経験]ピアノ・エレクトーン講師		
塚田 規子	[実務経験]ピアノ講師		
入江 亜矢子	[実務経験]ピアノ講師		
佐藤 いつみ	[実務経験]幼稚園教諭		
関 義夫	[実務経験]ピアノ講師 [研究テーマ]音楽教育分野 姫路大学通信教育課程非常勤講師		
授業の到達目標及びテーマ 保育内容を理解し、具体的な音楽表現が展開できる技術と音楽的知識の習得を目的とし、保育内容にそって、こどもの音楽活動を援助し、こどもの成長過程における豊かな人格形成（情緒・表現・鑑賞等）を育成することをテーマに学習する。			
授業の概要 ピアノという楽器の基礎的な技術を身に付けることによって子どもたちとの豊かな音楽表現へ結びつくようにピアノ実技指導を行う。またそれに必要な読譜力も養う。			
授業計画 1. オリエンテーション ピアノ実技及びソルフェージュのレッスン授業としてのガイダンス 2. 基礎演習Ⅰ 合理的なピアノ奏法を学ぶ（個々の習得度を考慮した練習曲を学習する） 3. ピアノ教程、ソルフェージュ教程とも課題曲の形式など楽曲構成にも注目し学習する 4. ～12. ピアノ曲とソルフェージュの継続的練習（個人レッスン） 13. 発表会形式によるプレテスト （ピアノ演奏、ソルフェージュともにこれまでの成果を互いに聴く） 14. プレテストの課題をもとに練習 15. 〃 16. 試験 ※ただし、ピアノ経験者については、各々に合わせて課題を決定する			
テキスト こどもの指導法「音楽表現」西野洋子 茨木金吾 國光みどり 石川ますみ 田上栄美子 菅原峰子／編（豊岡短期大学）			
参考書・参考資料等 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説」（フレーベル館） 「日本の子どもの歌」全国大学音楽教育学会／編著（音楽之友社） 「こどものうた200」小林美実／著（チャイルド本社）弾き歌いプリントを授業時に配布する。			
学生に対する評価 出席状況、授業態度、実技試験等の結果を総合して評価する。			

